



埼玉偕行会総会

第40回埼玉偕行会総会は平成28年5月28日(土)午前10時から「さいたま市民会館うらわ」にて、ご来賓、講師及び会員等総勢54名の参加をえて開催された。

元幹部自衛官の会員数は偕行社の各地偕行会との一体化施策に対応し、埼玉県在住で偕行社のみに入会している会員248名を吸収し367名に増え、総会参加者も昨年を上回る29名となった。なお総員531名の準備・進行は、殆どの業務を元幹部自衛官が担当した。

第1部年次総会は大浦誠哉氏(陸自60)の司会で開始、国旗に対し敬礼、国歌斉唱、戦没者・自衛隊殉職者・物故者に黙祷の後、埼玉偕行会会長齊藤藤信氏(陸自61)より、昨年は大東亜戦争終結70年の節目に当たり、天皇皇后両陛下がパラオ共和国やフィリピンを御訪問、戦没者の慰霊をされたことにより、国民にも戦没者に慰霊をする思いが少しづつ高まりつつある旨の話がされた。朝霞駐屯地にある陸軍士官学校に係る歴史的資料を展示する振武臺記念館が広報センターの管理のもと昨

年4月から一般に開放されたこと。また偕行社との一体化施策により、埼玉偕行会に合流して頂いた約250名に対し、埼玉偕行会の活動に積極的に参加して頂いたとの挨拶があった。

続いて小林武一事務局長(陸自64)から、平成27年度の会務・会計報告、平成28年度の新役員を紹介し総会を終了した。

第2部記念講演は、10時50分から講師偕行社副理事長で元陸上幕僚長の富澤暉氏から「防衛問題あれこれ」、副題として「新安保法制、米国防略の揺らぎ、そして憲法問題」について、約1時間余り、自著「逆説の軍事論」をもとにホワイトボードを活用し熱弁を振るわれた。

日本の防衛問題の基礎として世界情勢に対応できる柔軟性の保持が大切であり、米国防略案には様々なものがあることを承知し、それに振り回されぬ要あり、更に憲法問題では東大大学院教授井上達夫氏の理論を紹介し、締め括った。

第3部懇親会は、三浦天士氏(陸自61)の司会で12時15分から開始。先ず会長の挨拶のあと、来賓祝辞となり、偕行社理事長志摩篤様、東部方面總監部幕僚長兼朝霞駐屯地司令陸将補高田祐一様、化学学校長兼大宮駐屯地司令陸将補吉野俊二様、公益社団法人隊友会埼玉県隊友会会長佐藤常寛様から、それぞれ祝辞をいただいた。他の来賓者として記念講演講師富澤暉様、自衛隊埼玉地方協力本部副

本部長宇梶一憲様、参議院議員佐藤正久代理の秘書樋口庸一様、同じく参議院議員宇都隆史代理の宇都隆史後援会常任理事森良雄様が出席された。続いて来賓の特定非営利活動法人・国民保護協力会会長宮澤作太郎様の乾杯の音頭で宴会に入り、和気藹々の中楽しいひと時が過ぎた。恒例の軍歌演習は、山下二男氏(陸士60)の指揮のもと、従前会員全員で「仰げば颯々たる」「航空百日照」「血潮と交えし」を歌い、元自衛官が「この国は」「幹部候補生学校校歌」を歌った。

会員山崎美千代氏(陸自74)の中締めの後、副会長柳沢寿昭氏(陸自69)の三々七拍子、続いて実行委員長三浦天士の謝辞をもって、14時30分一連の行事を無事終了した。小林 武一(陸自64)

平成28年度茨城偕行会総会

事務局長 佐々木克徳 陸自71
茨城偕行会は、6月17日(金)平成28年度総会を「石岡プラザホテル」で開催した。本年度の総会参加予定者は32名。急用等で4名の欠席者が出たため、最終的に来賓5名、会員23名の総計28名となった。
開会に先立ち、国旗の前で記念撮影を行った。総会は金澤孝一副会長(陸自58)の司会で、10・30開始された。国歌斉唱、戦没英霊・殉職自衛官・物故者に対し黙祷を捧げた後、原善昭会長(陸自57)の挨拶。

引き続き、来賓の(公社)隊友会茨城県隊友会長 小原大森殿、(公財)偕行社理事 熊谷猛殿からご祝辞をいただいた。

議事にあたっては、議長を原会長、説明を佐々木克徳事務局長(陸自71)が務め、27年度事業報告・収支決算(1号)、28年度事業計画・収支予算(2号)、役員改選(3号)の全てについて原案通り可決され、滞りなく終了した。

第2部の記念講演は、11・30より陸上自衛隊施設学校校長兼勝田駐屯地司令 小瀬幹雄陸将補による演題「施設学校における最近の活動」を拝聴した。

昨年9月の常総・鬼怒川地区への災害派遣や最近の熊本地震への対応、学校が行っている能力構築支援事業を通じた国際平和活動への貢献等について伺った。また、南シナ海における中国の活動等の説明を受け、我が国周辺の厳しい環境や最新の情勢について改めて認識する良い機会となった。

12・30からの懇親会は、湯原弘副会長(陸自68)の司会で開始された。懇親会より参加された来賓の陸上自衛隊武器学校校長 市川文一陸将補、航空自衛隊第7航空団副司令 新井田能之1等空佐よりご祝辞をいただいた後、大澤嘉昭名誉会長(陸自60)の発声で乾杯、和やかな祝宴に移行した。
懇親会では、司会の指示に従って参加

者全員が自己紹介や近況報告等を行い、今後の会活動への熱い思いを語るとともに、相互に情報・意見の交換を行い親睦を深めあった。

盛り上がった懇親会の中、ご来賓の偕行社熊谷理事より飛び入りで謡曲「若いせぬや」の披露があった。恒例の軍歌演習は、大澤名誉会長と中久喜勲幹事陸自72の指揮の下、「陸軍士官学校校歌」、「陸軍航空士官学校校歌」、「この国は（自衛隊隊歌）」を全員で熱唱、後藤卓三副会長陸上61発声の万歳三唱をもって14・30無事締めくくられた。

前出以外の出席者（敬称略）

矢作榮一大功49、柳田金之助陸自52、福井正躬陸自60、水越美知陸自61、大高哲男陸自66、遠藤絃明陸自68、大田保重陸自71、和知勲陸自72、河野廣行陸自73、坪沼浩陸自01、荻沼蔵次（准陸尉）、青木寛（陸事務官）、大川豊（陸事務官）、木村和雅（陸事務官）、野口通夫（陸事務官）、両谷勝弘（賛助）

当日、急用のため欠席された方（敬称略） 寺門竜一名効48、荒海巖陸自57、増田忠則陸自59、藤田廣作陸自68、

前出以外の新入会元幹部自衛官等（アイウエオ順、敬称略） 新井榮、板橋正志、菊池清之、徳留國廣、樋口達哉、福田敏、森田功徳、湯原豊一郎、



岡山県偕行会総会

平成28年6月18日、28年度総会を岡山市内の「アークホテル」で開催した。今年度は、会員家族（遺族を含む）にも総会の案内状を送付した。出席者は、従前会員6名、元幹部自衛官会員15名、来賓2名であった。

一徳総活躍担当の加藤勝信大臣（地元出身の陸自60期加藤六月元農林大臣の娘婿）から、祝電を頂いた。

「国旗に敬礼」「国歌斉唱」「物故者に黙祷」に引き続き審議に入り、「前年度事業報告等」では、特に「県下の忠魂碑等の現地調査結果・351基」について、詳

細に説明した。また「今年度事業計画等」では、特に「忠魂碑等の現地調査の継続」及び「県下27〇市町村の各担当者指定のための内部体制の充実」について、重点的に意見交換した。

その他、「会則」を改正し、伝統の継承の具体的施策として、家族会員を新設した。

懇親会は、57期林正夫氏の乾杯の音頭で始まり、来賓の岡山地方協力本部長・立石健一（等陸佐から）「2級賞状受賞の報告」があり、日本原駐屯地司令・米良憲一郎（等陸佐から）「熊本大地震の災害派遣活動の現況説明」が行われた。

会員の近況報告を含め大いに歓談し、「陸軍士官学校校歌」及び「この国は・自衛隊歌」を高唱して、最後に60期鳴海榮氏の一本締めを音頭で閉会とした。

総会出席者は次の通り（敬称略）

- 57期 林正夫 59期 古本雅彦
 - 60期 鳴海榮 60期 中野幸彦
 - 60期 小野恒夫 60期 古川哲
- 以下元幹部自衛官（陸期別・空白順）

- 永末豊彦 梅津隆雄 岸本久昭
- 竹内準一 山根正志 植月将元
- 竹内毅 赤田進 池田一敏
- 前川満重 利廣眞敬 廣崎壽廣
- 新谷芳満

宮脇保夫（空白） 前田勇（空白）

なお、総会終了に伴い、6月24日、永末

豊彦会長が、岡山県保健福祉課、遺族連盟、岡山県戦没者顕彰会、及び英霊にこたえる会をそれぞれ訪問し、前年度の協力にお礼を申し上げるとともに、今年度の事業等について情報を交換した。

記・永末豊彦

